



ささやま



篠山城跡奉仕活動



春日神社奉納絵馬

シルバー人材センターの基本理念

センターは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、会員の総意と主体的な参画により運営する組織です。

自主＝自分たちのものとして考える

自立＝自分たちの力で育てる

共働＝一緒になって働く

共助＝たがいに助け合う

年頭のごあいさつ



(公社)篠山市シルバー人材センター
理事長 押部 功

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いでお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃には会員の皆様はもとより関係を頂いております皆様方には格別のご理解とご厚情を賜っておりますこと心から感謝申し上げます。

さて、ご承知のとおり、我が国は今や四人に一人が六十五歳以上になっており、世界でも類を見ないスピードで少子高齢化社会を迎えております。進行する高齢化社会の中でシルバー人材センターに寄せられる期待は大きくその役割は益々重要になってまいります。

従いまして、これからは社会情勢や取り巻く環境の変化に柔軟に対応できるセンターづくりが大切ではないでしょうか。

そのためには、一、「会員の拡大に向けての取組み」、二、「就業機会拡大への取組み」、三、「安全、適正就業への取組み」を積極的に展開する必要がありますと考えております。

会員の皆様には、発注者に喜ばれる親切で丁寧な仕事を無事故で取り組んでいただくことをお願いすると共に事業計画に沿って実施される各種講習会や研修会への参加ご協力をお願い申し上げます。

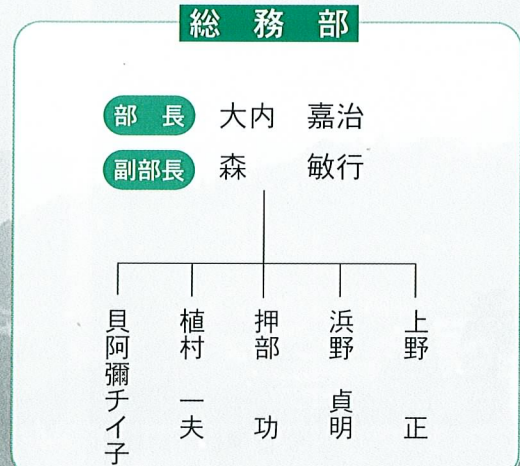
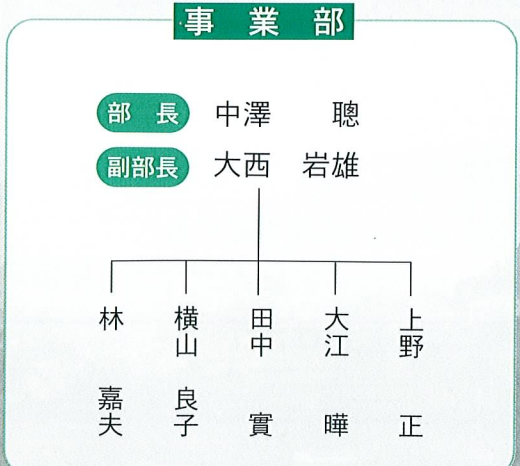
結びにあたり、皆様にとって実り多い年でありますことを願うとともに、ご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます。



理事長	押部 功
副理事長	大江 曄
常務理事	上野 正
理事	大内 嘉治
理事	森 敏行
理事	植村 一夫
理事	浜野 貞明
理事	貝阿彌子イ子
理事	中澤 聡
理事	大西 岩雄
理事	林 嘉夫
理事	横山 良子
理事	田中 實
理事	古倉 眞
理事	桑形 恵廉
監事	
事務局	職員一同



篠山の時代を担って下さい



篠山市長
酒井 隆明

新年あけましておめでとうございます。

篠山市シルバー人材センターの会員の皆さまには、ご家族お揃いで初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、培われた豊富な知識や経験を生かし、地域のなかで様々にご活躍を頂いており、本当にありがとうございます。

さて、今、篠山市は魅力の花が咲きつつあります。

観光客は毎年増え続け、おしゃれなカフェやお店ができたり、テレビ、雑誌でもよく取りあげて頂いています。又、篠山市で住みたい人も増えつつあります。

それは、先輩の皆様が築いてこられた農業の都、小京都と言われるきれいなまちなみ、自然の命が息づき、そして、文化の薫るまちだからです。

そして、本年もこれら篠山の良いところを益々伸ばし、そして若い人が定着でき、みんなが住み良い「篠山の時代」をめざし、更なる取り組みを進めていきます。

シルバー人材センターの皆さんが取り組まれている事業は、環境、福祉、子育て、農業などいろんな面から、住み良い篠山市を築くための、きめ細やかな、そして、大切なお仕事です。

そして、シルバー世代の方々がいつまでもお元気で、生き生きと活躍されるお姿は、篠山市を益々盛り上げるものです。

どうか、本年も皆様ご健勝にて、篠山の時代を担ってご活躍されますようお願い申し上げます。

活力ある地域社会の実現に向けて



篠山市議会議長
足立 義則

新年あけましておめでとうございます。(公社)篠山市シルバー人材センターの皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

また、平素より市議会に対しましてご理解と温かいご指導を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

さて、今日の急速な少子高齢化の進展により、人口構造からみても高齢化率が約二十八パーセントに達し、労働力人口の減少に伴う社会活力の低下が懸念されているところであり、

一方で、多くの高齢者は元気な方々で、趣味や地域の行事に参加し、毎日を生き生きと過ごしておられます。今後はこのような定年退職等で現役引退した後でも、就業を希望する高齢者に就業機会を提供することがますます重要となっております。

(公社)篠山市シルバー人材センターにおかれましては、設立以来、高齢者の就労促進と生きがい対策のための拠点として、地域活性化の一翼を担われてきました。今後さらに、地域との関わりを深め、高齢者の社会参加を通じた生きがいづくりの機会を拡充すること、高齢者が健康で生き生きとした社会を作っていくていただくことを期待しております。

会員の皆様におかれましては、豊かな経験や知識、技能を活かし、地域社会の活性化にこれからもご尽力いただきますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、高齢者福祉の向上、安全、安心なまちづくりを目指して、努力してまいります。

結びに、(公社)篠山市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と会員各位のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

会員の声

今年も年男・年女を迎えられた皆さんに寄稿いただきました。健康にご留意をいただき、益々のご活躍を期待しています。



健康第一の人生

檜皮 悦司

新年明けましておめでとうございます。私は、六十八歳で会社を退職して篠山市シルバー人材センターに入会させていただき、初めは本当に仕事で務まるかと思いましたが、今日までセンターをはじめ班の皆さんのご指導を受けながら、今日まで無事故で過ごせ、又、多くの会員と知り合えたこと、楽しい毎日を過ごさせていただき、早や三年が経過しました。心から感謝しております。年を重ねるにつれ、体力は落ちますが元気で働ける喜びに感謝し、会員の皆様にご迷惑を掛けないよう、そして、今年も年男を迎えますが、もう少し「健康第一」を目標に頑張りたいと思っております。今後とも、よろしくお願い致します。

私の一言

畑 保子

私は色々な職場を経験しながら人生を送って来ました。高齢になり、家庭に入り、ランドゴルフ、ウォーキング、夫との花いじり毎日を楽しく過ごしています。そんな中、ケアホームのお世話をする仕事に誘われました。私は高齢、初めて向き合う仕事、自分には出来るか心配でしたが、今では利用者さんとも仲良くなり現在に至っています。働く意欲、そして健康であれば受け入れてもらえるのだと思えました。義母が言っていた「働ける間、頑張って、働くんやで！」その言葉通り私は今も元気で働いています。

私の一言

古倉 眞

新年明けましておめでとうございます。私たち幼少のころは、平均寿命も七十歳くらいだったと思います。近年は八十歳を超えて世界有数の長寿国となっています。私も若かりし頃は、七十歳まで生きられればと希望を持っていましたが、今年で年男となり希望がかなえられたことは医療、食生活、生活環境等改善されたことが大きな要因ではないかと思えます。また、シルバー人材センターで高齢者の活躍できる機会を与えていただいていることが生きがいになっていることも一つの要因だと感じています。

千年に感謝

吉田 一成

新年明けましておめでとうございます。今後は、天国か、地獄にまっしぐら、これからは、余生を楽しみながら悔いのない人生を過ごしたく思っています。新年明けましておめでとうございます。今年、午年に当たり、小生も今年で当たり年を迎えました。年を老いて行くと、なぜか一年が早く過ぎ去って行きますのは、小生だけではないと思います。会社を退職してからも十年が過ぎました。シルバーで働かせてもらおうと思える仕事できることは、この上もなく感謝々々そうして幸せな毎日です。外へ出ると見るもの聞くもの、全てが新鮮でこんな日を迎えられたこと、この上なく幸福です。今は、病気など日々を過ごされてる方も無駄だと思わず、このことを大事だと思え、乗り越えられたから、今春が迎えられることでしょうか。これから、何年生きられるか分かりませんが、一日一日を大切に何事にも感謝の心を忘れず、生きていきたいと思っております。今日も誰かと出会い、いっぱい楽しい時間を過ごしたいと思っております。

元気な一生

太期 軍次

新年明けましておめでとうございます。私は、平成十三年にシルバー人材

私の一言

西田 俊一

初春のお祝い申し上げます。古い言葉ですが、「一年の計は、元旦にあり。」と申します。とはいえ、つい情性に流れ、心ではやる気はあってもなかなか実行できない場合が多いことは皆さまよくご経験のことだと思います。やはり、何か区切りが必要なものですね。その区切りが新年ということになるわけです。新年があらたまり、新年であると思ふと、今日は、昨日の連続で、本当は何も変わっていないわけではないが、新しい気分で見直すことになり、年こそはという目標をたてるのも自然の成り行きと申せましょう。皆さまも、良い目標をたて、ぜひそれを実行して、今年も実り多い年であることを祈っております。最後に、本年も活力ある地域社会づくりに寄与するよう務める所存であります。

人生の出会い

加茂前美栄子

新年明けましておめでとうございます。いつもシルバー人材センターの皆様にお世話になり、ありがとうございます。シルバーでお逢いした仲間の皆様と共に、仕事に講習会にと「脳の活性化」「一生勉強」を目指し今年も頑張っていました。昨今の車社会の中で交通安全教室を受講させていただく度に、初心者に戻り事故の無い運転をと心掛けています。篠山の四季を感じながら、健康に気をつけて働かせていただける事に、感謝と幸せを感じております。今後共皆様の御指導を宜しくお願い致します。

年頭所感

秋月 透

新年明けましておめでとうございます。篠山に暮らし始めて二年半になります。したがって、私の会員歴はあまり永くありませんが、諸先輩方や事務局の方々のご指導を得て大過なく勤めさせていただいております。いつも心がけていただいていることは、依頼者に必ず満足いただける仕事をするということだと思います。その結果、何度モリピートオーダーをいただき親近感、信頼感が増してくることは大変嬉しいことです。年頭に当たり、まずは今年も「必

新しい年に向かって

島中 保宏

最近では読書、畑仕事、家庭の用事などで過ごしている毎日です。それだけでは何となく単調な生活になってストレスがたまっていくような気分になってきております。最近、自分が一番気をつけていることは健康面です。特に体と精神面には十分気をつけて病気などにかからないように注意し、精神面を充実させてこの一年を過ごしてまいりたいと思っております。年齢がいくとどうしても年だと言って弱気な気持ちになりやすくなります。今年も年男の年です。大いにシルバーで働き、人との交流もしていきたいように努め、毎日をゆかいに、楽しく充実した生活ができるようにしていきたいと思っております。私がお酒が好きなので今年も大いに飲みたいですね。シルバーも何か行事を開催し、シルバー仲間との交流のため忘年会など開催した方が盛り上がるのではないかと考えられます。旅行もいいのですが、今年もシルバー

生き甲斐を求めて

藤原 和之

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。四十三年間にわたるサラリーマン生活もリタイアして早や七年、一期シルバーセンターでお世話いただき就労していましたが、それも終了し、今やオールサンデーの完全年金生活となりました。特別な趣味もなくこのままでは「ボケ老人？」を待つばかりの状態であり、何か生き甲斐になる目標はないかと探し求めていたところ、昨年九月小売業の管理・運営者の職があり、妻の反対を押し退け少しばかりの経験を鼻にかけ、人生の第四コーナーをも顧みず恐いもの知らず、一年発起チャレンジすることになりました。目標物を手に入れ覚悟はしていましたが、毎朝の五時起床、厳寒、風雨等の中での通勤等なかなか厳しく、かつ、管理運営全般をオールラウンドプレーヤーで、朝六時から夕方六時まで遂行するのは相当にハードであり、妻の手助けを受けながら悪戦苦闘の日々を繰り返している所です。はじめた以上、人の冷水、三日坊主と言われぬ様、また、お客様にご迷惑をお掛けすることのない様、気配り心配り目配りをモットーに、健康が許す限り頑張りを続けたいと思っております。末筆となりましたが、会員諸氏の益々のご多幸とご健康をねがいつつ失礼をいたします。良き一年でありますように！

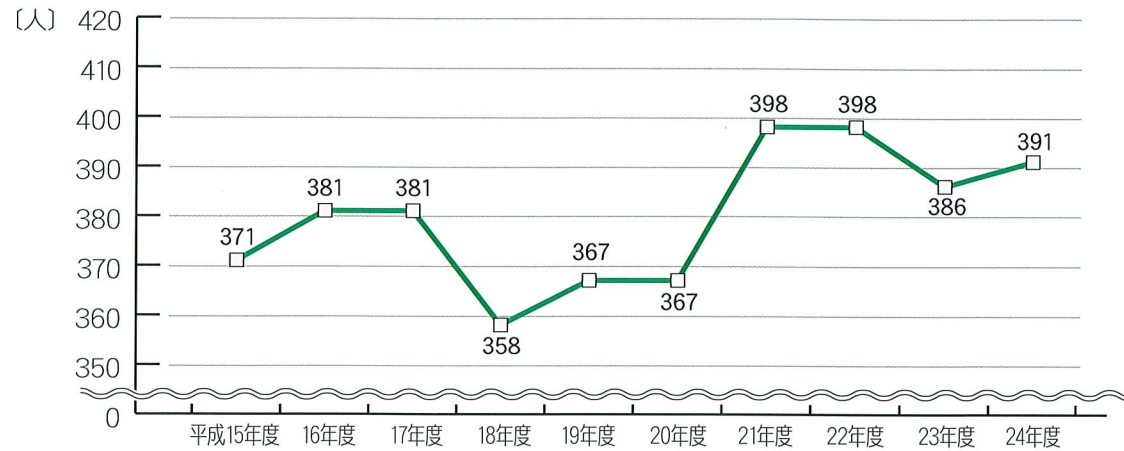
センターへ役場より囑託として三年間お世話になりました。その後、会員として現在に至っておりますが、六十歳代には色々仕事もありましたが、現在七十歳代になるにしたいが、仕事も減りつつあります。また、センターの事業には、出来る限り参加させて頂いている現状ですが、大変感謝している現在です。

例えば、毎年の定期的な事業としての植木剪定講習会には、講師の壺井幸次郎先生の指導には、ここ二、三年間かさず参加をしております。参加者も年々若返り自分が年を重ねたというのが実感ですが、参加者の邪魔にならないよう、最後には枝葉の処理に重点をおいて出来る限り後片付けを主力に行うよう心掛けております。また、栗の剪定では、先生の森口さんの指導により、ここ数年間は参加させて頂いておりますが、植木剪定と同様、参加会員の皆様の年代が若返り、私は年寄りの部へ入り見学をして学び、実施はしております。皆様とのふれあいを大事にしてまいります。

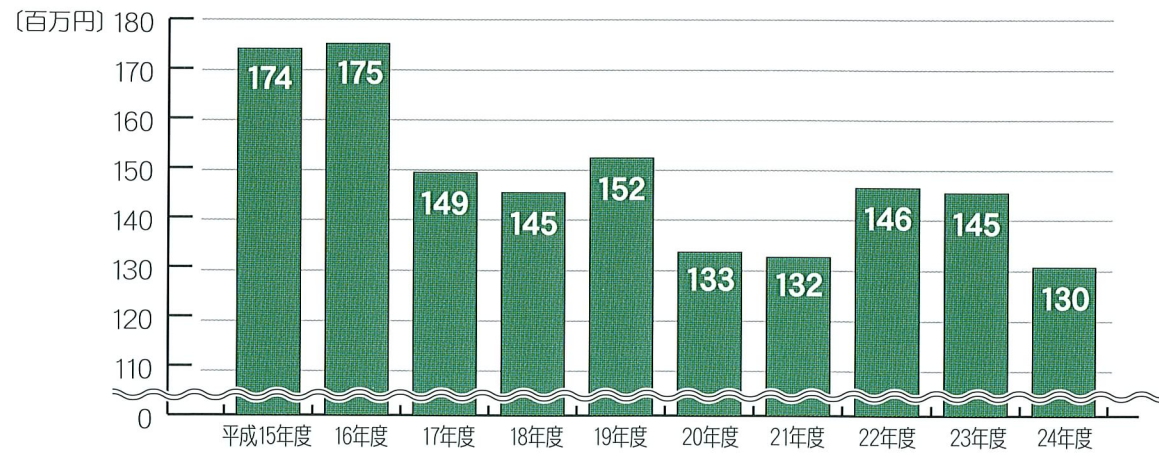
また、しめ縄の講習会には、西澤敏夫先生にご指導を頂き、正月のしめ縄をここ数年利用させて頂いております。しめ縄用の餅米の苗の栽培から刈り取りまで、お世話を頂き大変感謝致しております。また、「交通安全教室」には、毎会参加しております。警察署よりの指導、ビデオによる啓発等に改めて交通安全について認識している次第です。そして、年一回の会員の親睦旅行

会員数・契約額の推移

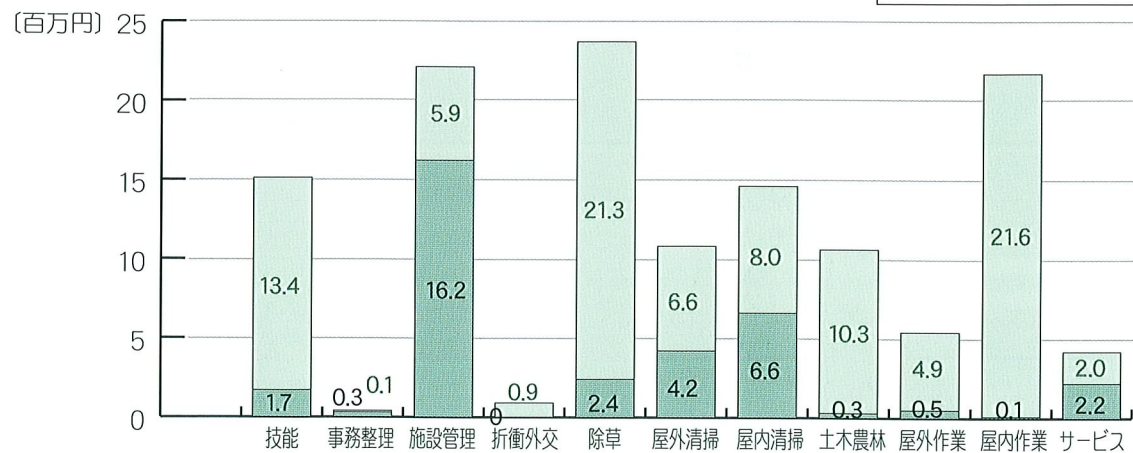
グラフ 会員数の推移



グラフ 契約額の推移



グラフ 平成24年度 職群別契約額



平成25年度

定時総会の開催



藤田綾子様・森本智恵子様・森本美智子様・酒井文雄様・小林宏次様・大前美千代様・三宅三千男様・阪本幸江様・河南信行様・足立行弘様・酒井秀次様・富阪和夫様・清水實様・千田昭様です。
来賓として、篠山市長代理 副市長 平野斉様・篠山市市議会議

平成二十五年度の定時総会が五月二十九日(水)午後一時から四季の森生涯学習センターで、会員二百九十二名(出席会員百八十四名・委任状百八名)の出席により開催いたしました。
はじめに、入会十年表彰を二十三名の会員の皆様に贈らせていただきました。

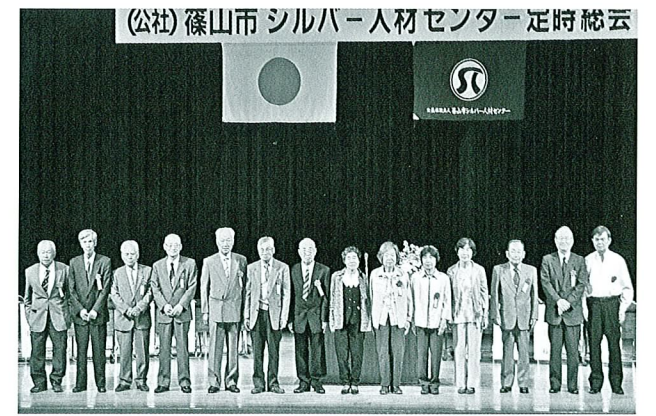
長代理 文教厚生常任委員長 園田依子様・衆議院議員谷 公一様 代理 秘書 渡辺浩司様・兵庫県議会議員 小西隆紀様・丹波県民局長代理 主幹兼恐竜まちづくり課長 青田浩明様・柏原公共職業安定所篠山出張所長 田中綿二様・篠山市保健福祉部部長代理 福祉総務課長 清水麻喜子様をお迎えし、ご祝辞を賜りました。
議長には、出席会員の中から新家英生氏を選出され、新家議長のもとに提案された議事等スムーズに進行されました。
議案第一号 平成二十四年度収支決算並びに監査報告について
議案第二号から第十六号まで 役員(理事・監事)の選任について
議案第十七号 理事長に対する権限委任について
提出したすべての案件は、原案のとおり承認・可決されました。

安全就業宣言の採択

私たち公益社団法人篠山市シルバー人材センター会員は知識と経験を生かし社会参加を通じて地域の発展に貢献します。
いつまでも仕事を通じて人生の喜びを感じられるよう仲間を作り仲間を支え傷害や物損事故のない就業を目指して活動することを宣言します。

二十五年度重点事業

- (一) 就業に関する情報の提供と新規就業機会の確保
- (二) 会員の安全就業の徹底
- (三) 新規入会会員の拡大
- (四) 職群別の新規会員の確保と強化
- (五) 生活支援事業の推進
- (六) シルバー労働者派遣事業の推進
- (七) 適正就業基準の定着と推進
- (八) 講習会・研修会の開催
- (九) 健康増進のための事業
- (十) 社会貢献活動

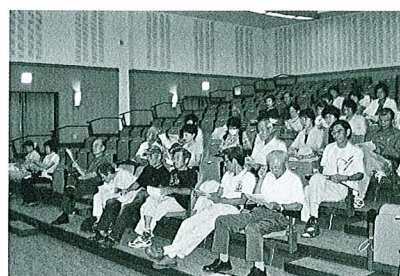


入会十年表彰を受賞された会員のみなさん

2013年 各種事業のあゆみ

8/27 会員研修会

食事で健康な体づくり



9/17 生活支援講習会

福祉・家事援助サービスにおける会員の役割について



2/8 栗の剪定講習会



H24 12/14 しめ縄づくり講習会

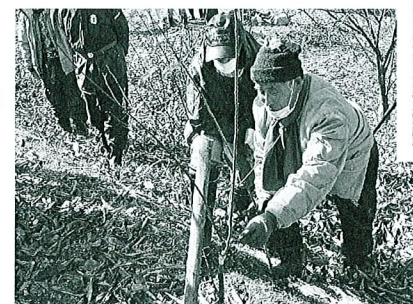


9/28 交通安全教室

効果的なブレーキの踏み方 (篠山自動車教習所)



11/5・6 植木(松)剪定講習会



3/13 襖・障子張替講習会



10/1 シルバーの日の奉仕活動 (篠山城跡)



7/1・2 雑木剪定講習会



7/26 生活支援講習会



11/25 生活支援講習会



11/14 機械器具安全使用講習会



刈払機



チェンソー



消費生活



長寿食について学ぶ

事業推進大会

平成25年10月31日神戸新聞松方ホールで、シルバー人材センター事業の理念を広く県民に浸透させるとともに会員の参画意識を高め、事業の発展拡充を図る目的で事業推進大会が開催されました。

顕彰では、兵庫県シルバー人材センター協会会長表彰として、団体表彰・役員表彰・会員表彰・職員表彰が行われ、会員表彰では、当センターの高見實雄様が15年表彰を授与されました。



左から5番目が高見様

事務局からのお知らせ

配分金の確定申告について

篠山市シルバー人材センターから振り込みました、皆さまの就業に対する配分金は、所得税法上では雑所得として取り扱われ、次に該当するような場合には確定申告の必要がありますのでご注意ください。(詳しくは、税務署等にお尋ねください。)

例1 『配分金のほかに収入がない場合』

年間配分金の合計額が103万円を超える場合は、確定申告が必要です。

例3 『配分金と公的年金と給与(賃金)が収入の場合』

$$\begin{aligned} \text{(年間給与(賃金) - 65万円)} &= A \\ \text{(年間配分金 - A)} &= B \\ \text{(公的年金 - 公的年金の控除額)} &= C \\ &D \end{aligned}$$

Aの数字がプラスの場合は、配分金から控除することができません。(Aがマイナスのみ可)

Dの額が38万円を超えていれば、確定申告が必要です。

例2 『配分金と公的年金が収入の場合』

$$\begin{aligned} \text{(年間配分金 - 65万円)} &= A \\ \text{(公的年金 - 公的年金の控除額)} &= B \\ &C \end{aligned}$$

Aの額がマイナスの場合、Aは0となります。Bの額が38万円を超えていれば、確定申告が必要です。

例4 『配分金の他に農業収入がある場合』

農業収入は申告により必要経費が認められますが、農業に係る必要経費が65万円以上となったときは、配分金からの控除は認められません。この場合、配分金のある方は確定申告が必要です。

※給与と所得者が給与収入と農業収入を併せて申告するときは、農業の必要経費が多く農業所得がマイナスの場合は、給与からの控除は認められません。

新入会員名簿 (平成24年11月2日～平成25年11月1日)

会員番号	氏名	会員番号	氏名	会員番号	氏名	会員番号	氏名
658	沢本美津夫	670	梶谷いとえ	1174	水口 藤子	2460	遠藤 義明
659	谷口 治	671	檜原 崇	1175	佐藤 喬	2461	中村 敏一
660	井関 善孝	672	脇田 敬子	1176	山内 君代	2462	河中都志郎
661	樋口 栄	673	森本 浩	1177	井上 明	2463	駒谷 登
663	樋口 滋	674	牧 祐生	2454	酒井 禮子	2464	堀 弘子
664	西嶋 利廣	675	武部 正男	2455	坂本 恵一	2645	前川 和子
665	古池 満	676	小谷 貞子	2456	福留 政也	3215	松本ソエ子
666	齋藤 肇	677	田畑 新一	2457	福留 五子	3216	田中 良子
667	井関 文子	678	長谷川良雄	2458	溝端 了		
669	西尾 一也	1173	飯田 敏明	2459	東野 章二		

篠山市シルバー人材センター 親睦委員会活動

10/29 バス旅行

「岡山後楽園と閑谷学校」をテーマに好天候に恵まれるなか、会員83名、職員4名の親睦バス旅行を実施いたしました。

1号車

2号車

3号車

岡山城 (からくり、寄せ絵、遊戯具)

岡山後楽園 (菊花大会)

牛窓ホテルリマーニ (昼食)

道の駅黒井山 (土産物)

閑谷学校 (江戸時代の庶民の学校)

からくり

後楽園

昼食

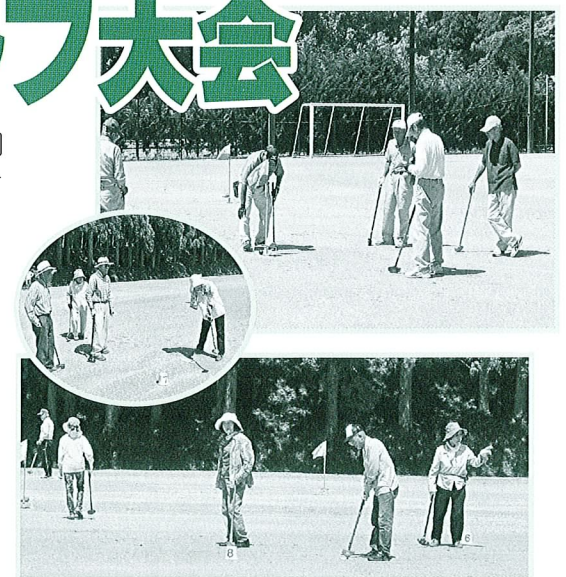
閑谷学校

6/14 グランドゴルフ大会

ユニピアささやまのグランドにおいて、参加人数26名を6チーム編成で行い、Aコース、Bコース、Cコースで会員相互の交流を深めました。

結果

- 1位 露口 直記 様
- 2位 眞砂野 仁 様
- 3位 押部 功 様
- 当日賞 松本 明美 様
- BB賞 貝阿彌チイ子 様



事務局からのお知らせ

会員の就業は必ずセンターを通じて!

- 会員の就業先を組織的に確保、提供しているのがシルバー人材センターです。
- 発注者から会員に直接仕事を依頼された場合、親戚や知人、友人にたのまれた等の理由であってもセンターを通じてください。
- センターを通さず就業された場合は、事故・怪我等が生じててもシルバー保険の対象にはなりません。
- センターの組織を守るためにも、個人での請負はしないでください。

お知らせ

平成26年度 定時総会を開催します

日時 5月23日(金)予定
場所 四季の森生涯学習センター

平成26年配分金支払日

月	日(曜日)	月	日(曜日)
1月	17日(金)	7月	15日(火)
2月	14日(金)	8月	15日(金)
3月	14日(金)	9月	12日(金)
4月	15日(火)	10月	15日(水)
5月	16日(金)	11月	14日(金)
6月	13日(金)	12月	15日(月)

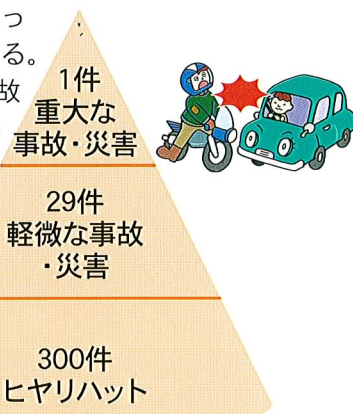
交通安全

1. 飲酒運転の根絶
2. 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
3. 自転車の交通安全
4. 全ての座席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

ヒヤリハット

ヒヤリハットは、結果として事故に至らなかったものであるため、見過ごされてしまうことが多く、すなわち「ああよかった」と、直ぐに忘れがちになってしまうものである。

したがって、事故が発生した際においては、その前に多くのヒヤリハットが潜んでいる可能性が多い。



会員の心得

- さ ... ささえよう地域の暮らしと高齢者
- さ ... さしのべよう福祉の手とこころ
- や ... やりとげよう正確な仕事と安全第一
- ま ... まごころもって満足感と信頼感

編集後記

本号表紙写真は、十月一日シルバー事業のピーアールを兼ねた奉仕活動、参加者全員による記念写真を選定しました。また、絵馬については篠山市黒岡にある春日神社に奉納されている「黒神馬くろしんめ」というもので、慶安二年(一六四九)、時の篠山城主(三代目)松平忠国公が奉納。絵師は不明ですが、筆勢誠に見事で、夜毎に馬が絵よりぬけ出し、田の豆を食い荒らしたので、金網を張ったり、口網をつけて防いだと言われているものです。

編集に当たっては、「会員の声」として、年男・年女の方に投稿をいただき、「会員数・契約額の推移」として、十年間の推移を示し、平成二十四年実績については、官公・民間の契約状況を表すことといたしました。また、「各種事業のあゆみ」については、文章を減らし、会員が熱心に活動している状況を多く掲載することとしました。

会報編集委員長